

## 男廿共同参画センター"ひらく"最近の動き

センター便り·No.12

## 男廿共同参画センター利用団体にアンケートしました。

昨年11月、小平市男女共同参画推進 実行委員会では、男女共同参画センターに利用登録している市民団体(13 団体)に、アンケートをお願いしました。その結果がまとまりましたので、ご報告します。

- 参画センターを利用している団体 は7団体で、6団体は利用していま せんでした。
- 月に6回利用しているのが1団体、 3~5回利用しているのが1団体、 月に1~2回利用しているのが4団 体、年に3回くらい利用しているのが1団体。
- 利用していない団体のうち1団体は

活動しておらず、1団体は活動を休止して別の場所で違う形の活動をしている。2団体は独自の事務所を持っており、2団体は公民館を利用している。

- 登録団体の交流や情報交換については、必要と答えた団体は8団体でした。
- 参画センターへのご意見、ご要望 は次のとおりです。
  - ・子連れでも利用しやすく、とて もありがたいスペースでした。 当時青少年センターに詰めてい る方が、ただいるだけで「よく しよう」という意欲が感じられ

ず、残念でした。

- ・場所が不便でわかりづらく、説明もしづらいのが難点でした。
- 資料や書籍があるのがいい。ロッカーを使用できるのもいい。青少年センターのスタッフが参画センターについての理解が乏しいのが困る。
- 人がいて一言二言でも話ができると、また行ってみたくなると思う。
- 専属のスタッフの配置とDVD を見られる機器がほしい。
- •「参画センター気付」で郵便物が受け取ることができるといい。

## アジア・太平洋女性連盟第19回総会に参加して 浅見 除子 (以平市女性のつどは)



昨年9月23日~26日、台湾で開催されたアジア・太平洋女性連盟 (FAWA) 50周年第19回総会"アジア・太平洋地域女性の将来展望"に、「東京都女性海外視察団の会」の一員として参加しました。日本からは東京と大阪から約30人が出席しました。

この会議の目的は、アジア・太平洋

圏の女性の地位向上、女性のリーダーシップを強化させること、各国の女性の相互理解と連携を図ることにあります。今回の会議の主要テーマは①女性のリーダーシップの構築②女性と健康③女性と環境④女性と経済の4点でした

主会場となった台北グランドホテルで行われたオープニングセレモニーで、馬 英九総統が300人の出席者を前に歓迎のスピーチを行なったり、官邸に出席者が招待されたり、地元のメディアに大々的に報道されたりしたのには、驚きとともに感激しました。3年前に日本で開催された時とは大違

いだと思いました。

馬総統は、2008年から台湾 政府が取り組んでいる数々の政 策を述べられました。たとえ ば、女性起業家のために予算を 増やした結果、1500人の女性 が起業した。保育所建設に補助 金を出した結果、保育所がレベ ルをアップして女性の雇用も アップしたなど。 各分科会では、出席者が各国が抱えている問題を報告され、非常に勉強になりましたが、それを紹介するスペースがないので、今回の会議で私にとって一番の喜びだったことを書きたいと思います。

2007年に東京で開催された時、東京・多摩市で行われた分科会で知り合った陳 孟瑩さん (裁判官) との楽しい再会を果たしました。晩餐会では、高雄市から見えた李 恵娥さん(高雄市医学大学の教授) と友達になることができ、お二人との交流をこれからも続ける約束もできました。

「その国を知るには、その国の人と友達になることが大事。」これが私の モットーです。



左から:浅見さん、陳さん、千田さん

ひらく

第28号 平成23年3月発行

発行/小平市次世代育成部青少年男女平等課 ☎ 042-346-9618 FAX 042-346-9200

企画·編集/男女共同参画推進実行委員会

広報誌『ひらく』部会

相京香代子 北川 紘二 笹 和紀 笹尾かをる 佐野 里美 鈴木 裕子 谷原 裕子 西田ゆかり 藤澤 則子

『ひらく』は男女平等な社会、だれもが生きやすい社会、住みやすい地域を作るために役立つ広報誌です。公募市民が企画・編集をしています。

再生紙を使用しています。